

○2006年1月1日～2006年12月31日

【論文】

■事業から見るイギリス流通業の社会的責任経営 — コープ陣営を中心にして、『ビジネスエシックスの諸相と課題』（関西大学経済・政治研究所研究双書第142冊）関西大学経済・政治研究所, 77-99 ページ, 2006年3月31日.

■イギリスにおける生活協同組合の再興 — 責任ある地域の小売業への模索と挑戦, 『関西大学商学論集』51巻1・2・3合併号（関西大学商学会）, 127-140 ページ, 2006年8月25日.

■"Red Store, Yellow Store, Blue Store and Green Store: The Rochdale Pioneers and their Rivals in the late Nineteenth Century" Working Paper of the Institute of Nonprofit Health Care Co-operation (INHCC), 55p, 2006年11月8日

■ロッチデール公正先駆者組合とその“分裂” — 『非営利・協同』の源流についての一考察, 『いのちとくらし研究所報』（非営利・協同総合研究所 いのちとくらし）17号, 58-63 ページ, 2006年11月30日.

【その他】

■巻頭言 「ドーピング資本主義の時代」『協同の発見』（協同総合研究所）164号, 2-3 ページ, 2006年3月15日.

■協同組合研究短信<No.46> バルベリーニICA会長の来訪, 『ひょうごJCC』（兵庫県協同組合連絡協議会）63号, 8 ページ, 2006年3月31日.

■「非営利・協同」の"母国"で暮らして — 『いのちとくらし』を考える, 『いのちとくらし研究所報』（非営利・協同総合研究所 いのちとくらし）15号, 77-79 ページ, 2006年5月20日.

■協同組合研究短信<No.47> 協同組合研究所の現在, 『ひょうごJCC』（兵庫県協同組合連絡協議会）64号, 10 ページ, 2006年6月30日.

■事典項目 農協・漁協, 『現代流通事典』白桃書房, 2006年11月, 252-253 ページ.

■協同組合研究短信<No.48> 研究の秋, 『ひょうごJCC』（兵庫県協同組合連絡協議会）65号, 8 ページ, 2006年12月15日.

【口頭報告】

■イギリス 『協同』の足跡, ロバート・オウエン協会第119回研究集会, 生協総合研究所, 2006年6月10日.

■イギリス流通業・協同組合における社会的責任経営の追求, 関西大学商学会研究会, 関西大学, 2006年6月21日.

■『協同労働』の歴史と課題, いま「協同」を拓く2006全国集会伊丹プレ集会「なぜ、

協同労働ということが近年言われるようになってきたか」, 伊丹市立文化会館いたみホール, 2006年6月25日. 『協同の発見』(協同総合研究所) 第169号, 2006年8月15日, 20-35ページ.

■ "Leadership in Co-operatives: Experience of Japanese Consumer Co-operative Movement", The 4th Asia-pacific Co-operative Research Conference, Colombo, Sri Lanka, August 15, 2006.

■ 日英協同組合事情, 高知短期大学社会科学会研究会, 高知県立高知短期大学, 2006年9月14日.

■ 第2報告へのコメント, 日本協同組合学会第26回大会 シンポジウム, 新潟大学, 2006年9月30日.

■ 保守派協同組合運動の研究 - ロッチデールを中心に, 日本協同組合学会第26回大会 個別論題報告, 新潟大学, 2006年10月1日.

■ 生協とはどんな組織、どんな運動だったのか? - あらためて協同組合原則を学ぶ, くらしと協同の研究所 第8回生協女性理事・トップセミナー, 龍谷大学大宮学舎北麓, 2006年12月10日.

■ 協同組合におけるリーダーシップ - 日本における生協運動の経験, 関西大学経済・政治研究所ビジネス・エシクッス班研究会, 関西大学, 2006年12月25日.

○2007年1月1日~2007年12月31日

#### 【論文】

■ ステークホルダー・レポートから見るイギリス協同組合運動の現在 - ユナイテッド・コープを中心に, 『協同組合経営研究誌 にじ』(協同組合経営研究所) 617号, 25-34ページ, 2007年2月15日.

■ Leadership in Co-operatives: Experience of Japanese Consumer Co-operative Movement, Kansai University Review of Business and Commerce, No.9, pp. 49-59, March 2007.

■ イギリスにおける生活協同組合の再興 - 地域と組合員に貢献する事業体への模索と挑戦, 『協同組合論の今日的解釈と将来への展望 - 「生協・漁協・森組・海外協同組合を中心とする研究会」中間報告 - 』(全国農業協同組合中央会教育部), 22-37ページ, 2007年3月.

#### 【その他】

■ 私の研究紹介: 協同組合の "母国" から見る日本の生協運動, 『協う』(くらしと協同の研究所) 99号, 16-19ページ, 2007年2月15日.

■協同組合研究短信<No.49> 生協法の改正とイギリス生協の統合, 『ひょうごJCC』(兵庫県協同組合連絡協議会), 66号, 8ページ, 2007年3月30日.

■<生協のひと・生協のモノ> イギリス生協のフェアトレード商品, 『協う』(くらしと協同の研究所) 100号, 13ページ, 2007年4月15日.

■書評 押尾直志監修 共済研究会編『共済事業と日本社会 — 共済規制はなにをもたらすか』(保険毎日新聞社、2007年6月、1890円), 『いのちとくらし研究所報』20号, 57-58ページ, 2007年8月31日.

■協同組合研究短信<No.50>協同組合は生き残れるのか? — 共済の危機, 『ひょうごJCC』(兵庫県協同組合連絡協議会), 67号, 12ページ, 2007年9月21日.

#### 【口頭報告】

■協同労働による仕事おこしと地域・人間の再生, 日本労働者協同組合連合会センター事業団関西事業本部, ニックタナカ, 2007年1月21日.

■英国生活協同組合の現在 — 倫理的事業と組合員組織, くらしと協同の研究所現代生協研究会, せいきょう会館, 2007年3月13日.

■CSRと中小企業 — 非営利・協同・社会的企業と関連して(2) 英国流通業の事例紹介, 関西大学経済・政治研究所産業セミナー, 関西大学, 2007年5月30日.

■生活協同組合とCSR — 生協の母国イギリスに学ぶ, 大阪いずみ市民生活協同組合CSR責任者学習会, サンスクエア堺, 2007年10月5日.

■イギリス生活協同組合の統合・連合化 — コーペラティブグループとユナイテッド・グループ, 日本協同組合学会第27回大会, 島根大学, 2007年10月14日.

■組合員理事の役割, くらしと協同の研究所第9回女性理事トップセミナー, トーコーシテイホテル梅田, 2007年12月8日.

○2008年1月1日~2008年12月31日

#### 【論文】

■イギリス生協と連合組織 — その組織・事業・統治, 『協同組合経営研究誌 にじ』(協同組合経営研究所) 621号(2008年春号), 54-71ページ, 2008年2月15日.

■「労働」をめぐる協同組合のビジネス・エシックス, 『ビジネス・エシックスの新展開』(研究双書第147冊) 関西大学経済・政治研究所, 123-137ページ, 2008年3月31日.

■Red Store, Yellow Store, Blue Store and Green Store: The Rochdale Pioneers and their Rivals in the Late Nineteenth Century, *Journal of Co-operative Studies (Japanese Society for Co-operative Studies)* (『協同組合研究』日本協同組合学会) 27巻1号, 133-153ページ, 2008年4月30日.

■格差社会における「非営利・協同」－ 差額室料問題に寄せて、『いのちとくらし研究所報』（非営利・協同総合研究所いのちとくらし）24号, 29-34 ページ, 2008年8月31日.

#### 【その他】

■ゼミナール講評「格差社会と生協」, 『第9回生協女性理事トップセミナー報告集』（くらしと協同の研究所）, 9-11 ページ, 2008年2月15日.

■組合員理事の役割, 『第9回生協女性理事トップセミナー報告集』（くらしと協同の研究所）, 16-23 ページ, 2008年2月15日.

■女性理事トップセミナーに参加して, 『第9回生協女性理事トップセミナー報告集』（くらしと協同の研究所）, 26-27 ページ, 2008年2月15日.

■CSRと中小企業:非営利・協同・社会的企業と関連して－ 英国流通業の事例紹介－, 『セミナー年報2007』（関西大学経済・政治研究所）, 33-41 ページ, 2008年3月 日.

■協同組合研究短信<No.51> 協同組合は生き残れるのか? (2)－ 研究者からの期待, 『ひょうごJCC』（兵庫県協同組合連絡協議会）, 68号, 8 ページ, 2008年3月28日.

■消費者がつくる「食」と環境－ 食の安心・安全をもとめて, 若森章孝編著『食と環境－問われている日本のフードシステム』晃洋書房, 167-179 ページ, 2008年7月20日.

■あたらしい「食」と「農」のあり方－ 消費者がもとめる「食」と環境, 若森章孝編著『食と環境－問われている日本のフードシステム』晃洋書房, 180-193 ページ, 2008年7月20日.

■いま、生協の“母国”では・・・, 『生活協同組合研究』（生協総合研究所）391号, 2-3 ページ, 2008年8月 日.

#### 【口頭報告】

■協同組合の誕生と展開－ コープとスーパーはどこが違うのか?, CO・OPとやま 2008 新春学習会, 富山県民共生センター・サンフォルテ, 2008年1月12日.

■コメント, 経済学史学会第72回大会, 愛媛大学, 2008年5月17日.

■協同組合の原点と将来展望－ 格差社会と協同組合, 第4回国際協同組合デー in 和歌山, ホテルグランヴィア和歌山, 2008年7月7日.

■Japanese and British Fair Trade Movements Contrasted: Alternative Global Business Practices in the Owenite Tradition (with Dr. Hisashi Nakamura), UK Society for Co-operative Studies "New Views of Society: Robert Owen for the 21st Century", 11 September 2008, New Lanark Mill Hotel.

■イギリス協同組合運動の新展開－ 全国統合と保守派協同組合の復活, 日本協同組合学会第28回大会, 福島大学, 2008年9月28日.

○2009年1月1日～2009年12月31日

【論文】

■ヨーロッパにおける協同組合のフェアトレードへの取り組み, 『にじ』2009年秋号(627号), pp. 80-90, 2009年9月15日.

【その他】

■杉本ゼミ <テーマ>協同組合原則—第7原則(コミュニティへの関与)を考える, 『第10回生協組合員理事トップセミナー報告集』くらしと協同の研究所, 通巻53号, 18-19ページ, 2009年3月20日.

■ディスカッション演習およびセミナーの感想, 『第10回生協組合員理事トップセミナー報告集』くらしと協同の研究所, 通巻53号, 26-27ページ, 2009年3月20日.

■Japanese and British Fair Trade Movements Contrasted: Alternative Global Business Practices in the Owenite Tradition (with Dr. Hisashi Nakamura), 『ロバート・オウエン協会年報』33, pp. 143-148, 2009年3月.

■大学における「協同組合論」の現状 — 生協は学生に講義されているのか?, 『協う』116号, pp. 6-7, 2009年12月.

【口頭報告・講演】

■イギリスにおける生協の再生に学ぶ—社会的存在意義を訴える事業展開とは?, 地域と協同の研究センター第9回総会記念シンポジウム, 生協生活文化会館, 2009年7月4日.

■Ethical Consumer と協同組合, 日本協同組合学会第29回大会, 酪農学園大学, 2009年9月13日.

■これからの生協と組合員理事に求められるもの, 日本生活協同組合連合会2009年度関西地連組合員理事ブラッシュアップフォーラム, コープこうべ協同学苑, 2009年11月9日.

■生協の社会的責任(CSR)と地域社会への役割を考える—イギリスの生協の実践から, 生協会館新大阪, 日本生活協同組合連合会関西地連第2回組織委員会, 2009年11月26日.

○2010年1月1日～2010年12月31日

【論文】

■協同組合における組合員と組合員意識の多様化, 『協同組合経営研究誌にじ』(協同組合経営研究所)631号, 7-16ページ, 2010年9月15日.

【その他】

- 結びにかえてー地域医療と「非営利・協同」, 中川雄一郎監修 非営利・協同総合研究所いのちとくらし編『地域医療再生の力』, 新日本出版社, 2010年1月25日. pp. 223-237.
- 杉本ゼミ<テーマ>生協は社会を変えられるか?ーEthical Consumer を考える, 『第11回生協組合員理事トップセミナー報告集』くらしと協同の研究所, 通巻55号, 31-33ページ, 2010年3月15日.
- なぜ非営利・協同なのか?, 『非営利・協同Q&A』総研いのちとくらしブックレットNo.4, 非営利・協同総合研究所いのちとくらし, 8-10ページ, 2010年9月1日.
- 協同組合とは?, 『非営利・協同Q&A』総研いのちとくらしブックレットNo.4, 非営利・協同総合研究所いのちとくらし, 28-29ページ, 2010年9月1日.
- (提言・JAに期待すること) レイドロー報告から30年〜総合農協の優位性を活かして〜, 『JA教育文化』(家の光協会) 120号, 2-3ページ, 2010年9月.
- レイドロー報告30年と協同組合民主主義(日本協同組合学会第29回春季研究大会報告(下)), 『共済と保険』日本共済協会, 52巻1号, 36-39ページ, 2010年11月15日.

#### 【口頭報告・講演】

- 大阪における消費生活協同組合(生協)の展開と展望, 関西大学経済・政治研究所 大阪大都市圏地域経済研究班2009年度第9回研究会, 関西大学経済・政治研究所, 2010年1月9日.
- 生活協同組合とはどんな組織・事業・運動なのか? あらためて考える「コープ」と「スーパー」「宅配業者」との違い、そして組合員活動の価値, 京都生活協同組合第2回行政区委員会委員長・副委員長交流会, 京都テルサ, 2010年2月16日.
- "生協らしさ"と社会的責任経営ーイギリス生協の"復活"から考える, コープこうべ全所属長会議, コープこうべ生活文化センター, 2010年4月15日.
- ロッチデールの先駆者達は何をめざしたのか, コープこうべジュニアボード研修, コープこうべ生活文化センター, 2010年5月10日.
- 生協における社会的責任経営と倫理的ビジネス, コープこうべジュニアボード研修, コープこうべ生活文化センター, 2010年5月10日.
- レイドロー報告30年と協同組合民主主義, 日本協同組合学会第29回春季研究大会シンポジウム, 東京農業大学, 2010年5月29日.
- 大阪、日本、そして世界の消費者運動と生協運動, 関西大学経済・政治研究所第185回産業セミナー, 関西大学, 2010年6月1日.
- 生活協同組合とはどんな組織・事業・運動なのか? 事業連合時代にあらためて考える「組合員組織」であることの意味と価値, 京都生協行政区委員学習会, 京都テルサ, 2010年7月6日.
- 協同組合の歴史と現在: 生協に期待される理念、価値、役割を考えるために, 2010年度京都府生協理事長懇談会, コープイン京都, 2010年9月7日.

■生協運動の新段階：“母国”の歴史と現状から見えてきた価値・理念・存在意義，日本生協労働組合ネットワーク（J CW）第15期第1回幹事会・学習会，兵庫県私学会館，2010年9月15日。

■CSRから見た大阪の生協，関西大学経済・政治研究所 大阪大都市圏地域経済研究班2010年度第5回研究会，関西大学経済・政治研究所，2010年10月2日。

■協同組合民主主義再考，日本協同組合学会第30回大会，佐賀大学，2010年10月24日

■いま、「非営利・協同」に何ができるのか、何が求められているのか～「理念・原則」と「現実」から考える～，くらしと協同の研究所2010年度第1回理事会，せいきょう会館，2010年11月20日。

■社会連帯組織としての非営利・協同組織（協同組合）の再生，全労済協会，2010年12月6日。

■協同組合原則と日本の生協～協同組合運動が大切にしてきたもの、力が及ばなかったもの、忘れてしまったもの～，第12回生協組合員理事トップセミナー，コープイン京都，2010年12月11日。

■生協とまちづくり～いま協同組合に何が期待されているのか，おおさかパルコープ第5回組合員活動推進学習会，おおさかパルコープ本部，2010年12月13日。

○2011年1月1日～2011年12月31日

#### 【論文】

■レイドロー報告30年と協同組合民主主義，『協同組合研究』（日本協同組合学会）29巻3号，27-30ページ，2010年（実際は2011年2月刊）。

■大阪における消費者協同組合運動の展開（1）～20世紀前半の消費組合運動と生協運動，『都市経済の諸相』（関西大学経済・政治研究所研究双書第152冊），関西大学経済・政治研究所，143-172ページ，2011年3月31日。

■『社会連帯組織としての非営利・協同組織（協同組合）の再構築』，公募研究シリーズ17，全労済協会，2011年5月，全57ページ。

■協同組合事業の特性，『協同組合の新たな展開—連帯経済の担い手として—「協同組合の新たな展開に関する研究委員会」報告書』労働者福祉中央協議会（中央労福協）・公益財団法人連合総合生活開発研究所，44-50ページ，2011年11月。

■組合員民主主義の深化とステークホルダーの全面参加，『協同組合の新たな展開—連帯経済の担い手として—「協同組合の新たな展開に関する研究委員会」報告書』労働者福祉中央協議会（中央労福協）・公益財団法人連合総合生活開発研究所，139-143ページ，2011年11月。

■協同組合史の新地平～「新ビジョン」を描くための「歴史」と「総括」，『協同組合経

営研究誌にじ』（J C 総研 日本協同組合総合研究所）636号, 14-19 ページ, 2011年12月15日.

#### 【その他】

■国際協同組合年を迎えるにあたって ～「産直」の精神を世界に, 『農業協同組合経営実務』66巻1号, 16-21 ページ, 2011年1月1日.

■公募委託研究(2007年度採用)「社会連帯組織としての非営利・協同組織(協同組合)の再生」, 『全労済協会だより』49号, 1-2 ページ, 2月.

■産直と地産地消 ～ さまざまな理念、さまざまなあり方, 『協う』(くらしと協同の研究所) 123号, 6-7 ページ, 2011年2月.

■問題提起 協同組合原則と日本の生協--協同組合運動が大切にしてきたもの、力が及ばなかったもの、忘れてしまったもの, 『第12回生協組合員理事トップセミナー報告集』(くらしと協同の研究所通巻58号), 5-28 ページ, くらしと協同の研究所, 2011年2月4日.

■杉本ゼミ<テーマ>まったく新しい協同組合のあり方を考えてみる～「食べ物協同組合」の構想・提案づくり, 『第12回生協組合員理事トップセミナー報告集』(くらしと協同の研究所通巻58号), 34-35 ページ, くらしと協同の研究所, 2011年2月4日.

■大阪、日本、そして世界の消費者運動と生協運動, 『セミナー年報 2010』(関西大学経済・政治研究所), 1-9 ページ, 2011年3月31日.

■2010年度大阪府生協連「政策討論集会」パネルディスカッション「求められる生協の社会的役割とは」, 『会報』(大阪府生活協同組連合会) No.292, 26-49 ページ, 2011年3月14日.

■班からパーティへ - 組合員の「拠点」はどうあったか, 『協う』(くらしと協同の研究所) 124号, 2-3 ページ, 2011年4月.

■2012年「国際協同組合年」を迎えるにあたって ～ 日本の協同組合に何が期待されているのか, 『協う』(くらしと協同の研究所) 125号, 2-3 ページ, 2011年6月.

■生協へのまなざし ～ 第19回総会記念シンポジウムで訴えたかったこと、学んだこと, 『協う』(くらしと協同の研究所) 126号, 2-5 ページ, 2011年8月.

■基調講演 いま、“非営利・協同”に何ができるのか、何が求められているのか ～ “理念・原則”と“現実”から考える～, 『第19回総会記念シンポジウム報告集 協同組合による新たな“つながり”づくり～国際協同組合年を前にして、いま、われわれには何が求められているのか』(くらしと協同の研究所通巻59号), 16-31 ページ, くらしと協同の研究所, 2011年9月30日.

#### 【口頭報告】

◎研究発表

■「協同組合事業の特性」および「ステークホルダーの全面参加による新しいガバナンス」



について、連合総合生活開発研究所 第5回協同組合研究委員会、連合総合生活開発研究所、2011年4月28日。

■日本における生活協同組合の誕生・展開・課題 ～ イギリスと対比して、全労済協会 第3回協同組合研究会、全労済協会、2011年5月30日。

■パーティは班に代わり得るものなのか ～ 生協における組合員組織についての一考察、J C総合研究所 新協同組合ビジョン研究会（参加を基軸とする事業研究会）、せいきょう会館、2011年12月10日。

■大阪・関西地区における生協事業連合の問題、関西大学経済・政治研究所 2011年度第4回大阪経済研究会、関西大学経済・政治研究所、2011年12月17日。

#### ◎講演

■協同組合の歴史と現在：生協に期待される理念、価値、役割を考えるために、生活協同組合コープしが新年役職員全体交流会、ホテルニューオウミ、2011年1月8日。

■協同組織運動と労働者の待遇・労働条件 — 協同組合にとって「労働」とは何だったのか？、全国農林漁業団体職員労働組合連合 2011春闘討論集会、新都ホテル、2011年1月22日。

■求められる生協の社会的役割とは、大阪府生活協同組連合会政策討論集会パネルディスカッション（コーディネータ）、シティプラザ大阪、2011年1月31日。

■いま "非営利・協同" に何ができるのか、何が求められているのか ～ "理念・原則" と "現実" から考える～、くらしと協同の研究所 第19回総会記念シンポジウム、コープイン京都、2011年6月25日。

■いま協同組合に何が求められているのか ～"つながり" づくりという視点から考える～、コープこうべ ビジネススクール第7期第3回集合研修、コープこうべ健保会館、2011年7月20日。

■いま生協に何が求められているのか ～震災を経験し、国際協同組合年を控えて、"つながり" づくりという視点から考える～、コープこうべ 生協いろは塾、コープこうべ 協同学苑、2011年9月26日。

■協同組合のアイデンティティに関する I C A 声明 ～生活協同組合の「原則」を歴史的に考える～、エフコープ生活協同組合 組合員理事研修、オアシス篠栗、2011年9月28日。

■日本型生協の現在と未来：イギリスと日本の協同組合史から考える、J C C U協同組合塾 2011年度 第1回例会、日本生活協同組合連合会 コーププラザ、2011年10月3日。

■今日の状況の中で問われる協同組合の役割 ～協同組合年を意識して～、2011産直意見交流会、鳥取県畜産農協・若葉台、2011年10月15日。

■大震災から国際協同組合年へ ～生協に期待されること～、コープ九州事業連合 2011年度第3回次世代リーダー育成学校、サンピア福岡、2011年11月3日。

■生協に何が求められているのか、何ができるのか ～ 生協の歴史からこれからのを考える、生協しまね学習会、ビッグハート出雲、2011年11月14日。

■なぜ「協同」のビジネスなのか、くらしと協同の研究所 第13回生協組合員理事トップセミナー「杉本塾」, コープイン京都, 2011年12月4日.

■国際協同組合年を迎えるにあたってー日本、東北、そして岩手の協同組合に何が期待されているか, 国際協同組合年第1回岩手県実行委員会記念講演, 岩手県産業会館(サンビル), 2011年12月21日.